

公開シンポジウム

「イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォームの構築 ～どんな基盤をつくり何をを目指すか～」

開催のご案内

1. 主 催：日本学術会議 化学委員会 分析化学分科会
日本学術振興会 計測分析プラットフォーム第193委員会
一般社団法人 日本分析機器工業会
公益社団法人 日本分析化学会
2. 日 時：令和元年9月4日（水） 13：10～17：00
3. 場 所：幕張メッセ 国際会議場3階 303会議室（JASIS 展併設）
（〒261-8550 千葉県美浜区中瀬 2-1）
4. 開催趣旨：ビッグデータ・AI 活用の時代を迎えて、計測分析プラットフォームの構築が課題となっている。学術振興会では「計測分析プラットフォーム第193委員会」が2018年4月に設置され、プラットフォーム構築の議論が進められた。学術会議・分析化学分科会では「最先端分析・計測機器開発センターおよび共同利用プラットフォーム構想」を提案してきている。これらの活動紹介・報告に加えて、最近の研究の動向を紹介し議論する。
5. プログラム：
 - 13：10 開会挨拶
竹内 孝江（日本学術会議連携会員、奈良女子大学理学部 准教授）
 - 13：15 「最先端計測分析技術開発及び共同運用プラットフォーム」構想について –日本学術会議 分析化学分科会からの提案–
一村信吾^{a,b}、谷口 功^a、佐藤 縁^a、竹内孝江^a、栄長泰明^a、尾嶋正治^a、齋藤公児^a、玉田 薫^a（^a日本学術会議連携会員、^b早稲田大学研究戦略センター教授）

計測分析プラットフォーム構築に向けて 1：共通基盤からのアプローチ

- 13：35 1-1) 計測分析プラットフォームの共通基盤
重藤 知夫（国立研究開発法人産業技術総合研究所分析計測標準研究部門主任研究員）
- 13：50 1-2) 生命科学におけるビッグデータ科学とその課題
中村 春木（大阪大学名誉教授）

計測分析プラットフォーム構築に向けて 2：計測インフォマティクスからのアプローチ

14：20 2-1) 計測インフォマティクスへの取り組み

永富 隆清 (旭化成株式会社基盤技術研究所主幹研究員)

14：35 2-2) 表面科学における計測インフォマティクス

藤田 大介 (国立研究開発法人物質・材料研究機構先端技術材料解析研究拠点拠点長)

15：05-15：25 (休憩)

15：25 2-3) ファシリティプラットフォームの課題と展望

ー ナノテクノロジープラットフォーム事業をベースとして ー

田沼 繁夫 (国立研究開発法人物質・材料研究機構分析支援ステーションステーション長)

15：55 2-4) AI/Robot を活用した材料開発に向けて

一杉 太郎 (東京工業大学物質理工学院教授)

16：25 総括質疑

(司会) 藤本 俊幸 (国立研究開発法人産業技術総合研究所計量標準総合センター研究戦略部長)

16：55 閉会挨拶

鳥山 素弘 (富山県産業技術研究開発センター所長)

6. 申し込み方法・連絡先

申し込み方法：WEB 登録 <https://www.jasis.jp/>

連絡先：(一社) 日本分析機器工業会内

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アマイビル3F